

2023年度環境報告

2023年度 当社における 環境マネジメントシステム活動について、簡略ながら報告致します。

1. 外部審査結果

外部審査機関によるサーベランス審査 (JIS Q 14001:2015) を11月20日掛川工場・21日白岡工場で受審し、不適となる事項はありませんでした。

2. 環境目標の達成度

運用実績は以下の通りです。

① 電力

目 標：2021年度使用効率を基準とし2023年末までに1%向上する

結 果：電気使用効率は製品構成の変化があり、機械稼働へ影響があったため目標に対して15.95%低下となり目標達成できませんでした。電気総使用量については、目標に対し51,072kwh・17.52%大幅な削減ができました。

② ガソリン

目 標：2021年度燃費を基準として2023年末までに1%向上する

結 果：営業車の燃費は、夏の猛暑に伴うエアコン使用量が増加したため、目標に対して8.49%達成できませんでした。前年に対しては7.59%低下しました。

③ プロパンガス・都市ガス

目 標：2021年使用量を基準として2023年末までこれを維持する

結 果：プロパンガス・都市ガス総使用量は、空調の更新や稼働低減に取り組んだ結果、目標に対して46.38%減少し目標を大幅に達成できました。

④ 一般廃棄物

目 標：2021年度排出量を基準として2023年度末までに1%削減する

結 果：一般廃棄物総排出量は、分別廃棄の徹底を継続し、目標に対して14.91%減少し、目標を達成できました。

⑤ 廃プラスチック

目 標：2021年度排出量を基準として2023年度末までに1%削減する

結 果：廃プラスチック排出量は、工場内の整理整頓を行い不用品の廃棄を行ったことにより目標に対して55.58%増加し目標達成できませんでしたが22年実績に対して、5.54%の削減となりました。

⑥ 古紙排出率

目 標：2022年度排出率を基準として2023度中に0.2%削減する

結 果：古紙排出率は、製品構成の変化に伴い、0.58%増加し、目標を達成できませんでした。

⑦ 設計開発

目 標：2023年度末までに環境に配慮した改善提案を200件行う

結 果：環境に配慮した改善提案は、118件で提案され目標達成できませんでした。

3. 法規制及びその他の要求事項の遵守状況

特に問題ありません。

4. 利害関係者からの情報又は、社会環境の変化

ステークホルダーの環境に対する関心がより一層高まり、環境に対する取り組み・環境負荷物質・持続可能性等企業の社会的責任に対する取り組み内容の確認依頼が増加しています。利害関係者からの苦情等はありませんでした。

5. 新たに生じた著しい環境側面の変化

発生しておりません。

6. その他の諸事項

活動は問題なく推進しております。

7. 総括

空調機の更新や効率的な使用に取り組み、エネルギー使用量については目標達成し、一般廃棄物総排出量は分別廃棄の徹底を継続し目標達成いたしました。未達成が多くあるため、来年度は更なる工夫と改善を推進します。